



三重短期大学附属図書館 

Fuwa
Mofu



Dec.2022 - Jan.2023

こんな本



読んでみて

take free No.98

Fuwa Mofu

ページをめくると あったかくなるような
ふわふわ もふもふ な本をご紹介します。 



『シマエナガちゃん』

著 者 / 小原玲

出版社 / 講談社ビーシー

出版年 / 2016年

請求記号 / 748||O 27

北海道で暮らす体長14cmほどの小さな鳥“シマエナガ”の写真集です。そのふわふわもふもふな姿は「雪の妖精」と呼ばれるのも納得のかわいらしさです。

目 次

Fuwa Mofu	1
Book design の世界 vol.28	10
ちょこちょこ日記 #38	12

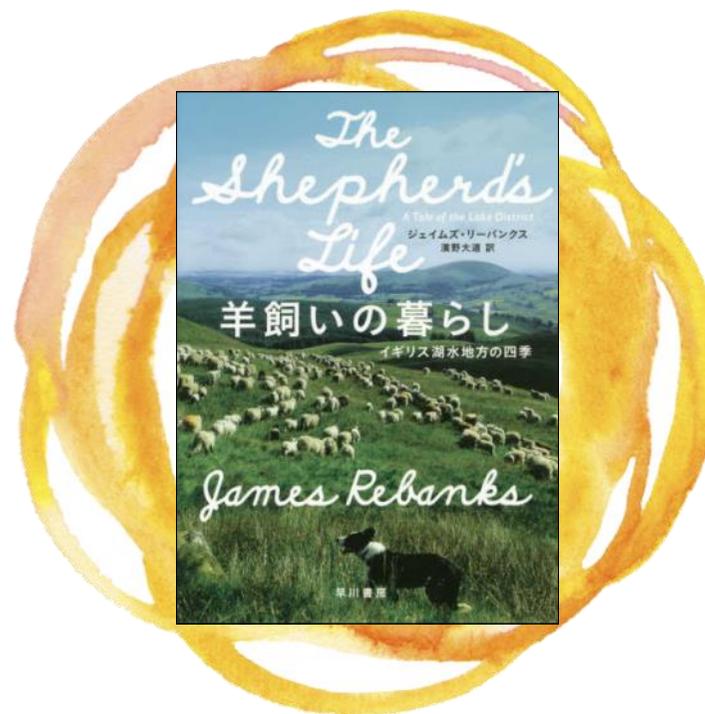
Fuwa Mofu



『ゆるハムさん』

写 真 / 藤本雅秋
文 / 坂崎千春
出版社 / WAVE出版
出版年 / 2005年
請求記号 / 645.9||F 62

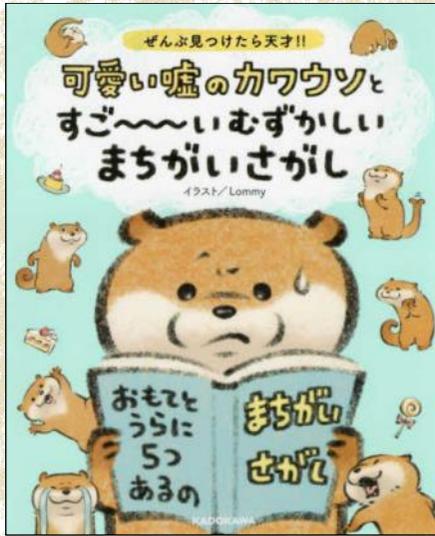
ハムスターのさまざまな表情やしぐさにほっこり、写真に添えられた文章にゆったり、リラックスできる一冊です。



『羊飼いの暮らし イギリス湖水地方の四季』

著 者 / ジェームズ・リーバンクス
訳 者 / 濱野大道
出版社 / 早川書房
出版年 / 2017年
請求記号 / 645.4||H 25

羊飼いである著者が厳しくも豊かな農場の伝統的な生活をつづった一冊。羊飼いという仕事を通して、イギリス湖水地方の四季の風景が美しく描かれています。



『可愛い嘘のカワウソと
すご〜いむずかしい
まちがいさがし』

イラスト/Lommy

出版社/KADOKAWA

出版年/2019年

請求記号/798.3||L 83

タイトルのおり、本当にすごく難しいですが、とてもかわいいので、なかなか見つけられなくても気持ちがほっこりしてきます。ぜひ挑戦してみてください。



『フェルトでつくる
アニマルトロフィー』

著者/Hande und Stitch

出版社/誠文堂新光社

出版年/2018年

請求記号/594.9||H 29

かわいくておしゃれなアニマルトロフィー。好きな色のフェルトや布で自分だけのアニマルトロフィーを作って、部屋に飾ってみませんか？

Fuwa Mofu



『しあわせのイラストパン』

著 者 / Ran

出版社 / KADOKAWA

出版年 / 2020年

請求記号 / 596.63||R 14

金太郎あめのように切っても切っても絵が出てくるイラストパンのレシピ。普段の食事も、クリスマスや誕生日も、もっと楽しくなる、そんなパンが作れます。



『とろける! 幸せ食感! スフレパンケーキ』

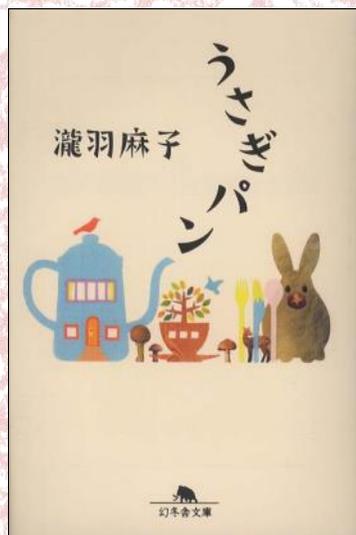
著 者 / 桔梗有香子

出版社 / 日東書院本社

出版年 / 2014年

請求記号 / 596.65||Ki 29

ふわふわなスフレパンケーキのレシピ集です。デザートにも、食事にも使えて、様々な味わいを楽しめます。食べるときっとしあわせな気持ちになれるはず。



『うさぎパン』

著 者 / 瀧羽麻子
出版社 / 幻冬舎
出版年 / 2011年
請求記号 / 913.6||Ta 73

高校生の優子は同じクラスの富田君と大好きなパン屋めぐりを始めます。うさぎパンに込められたやさしい気持ちに温かく包まれる物語。



『いつも彼らはどこかに』

著 者 / 小川洋子
出版社 / 新潮社
出版年 / 2016年
請求記号 / 913.6||O 24

馬、ビーバー、兎、チーターも、人も、それぞれの役割を懸命に生きている…。静かだけれど確かにそこにある美しさと温もりを感じる8つの短編小説です。

Book design

の世界

vol.28

坂詰 佳苗 さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第28回目は、坂詰 佳苗さんです。

今回は、坂詰佳苗さんが手がけられた装丁をご紹介します。



装画：古塔つみ
装丁：坂詰佳苗

一冊目の『君の顔では泣けない』（君嶋彼方著/KADOKAWA/2021年/913.6||Ki 35）は、第十二回小説野生時代新人賞受賞作です。装画はYOASOBIのキービジュアルなどを手掛けた古塔つみさんによるものです。ピンク・水色・白の色合いが爽やかで、その中の人物の表情にぐっと惹きつけられます。この表情とタイトルの意味を知りたくてすぐに本を開きたくなります。



装画：agoera
装丁：坂詰佳苗

『遠い唇』（北村薫著/KADOKAWA/2016年/913.6||Ki 68）は、謎解きミステリ短編集です。表題作はコーヒーがポイントとなっていて、agoeraさんによる装画からは、コーヒーの香りが感じられるようです。中には透け感のある紙にコーヒー豆が描かれています。味わい深い装丁です。



挿画：中田いくみ
装丁：坂詰佳苗

『ハリネズミ乙女、はじめての恋』（令丈ヒロ子著/KADOKAWA/2016年/913.6||R 25）。大阪から上京した19歳のコノカがハリネズミの白ハリくんとの出会いをきっかけに成長していく物語です。中田いくみさんが描かれた装画が、とてもかわいいです。見返しには三角形と飾り線の模様が描かれていて、包装紙のようです。物語がプレゼントのように感じます。温かみを感じる装丁になっています。

最後に紹介するのは『手をつないだまま さくらんぼの館で』（令丈ヒロ子著/KADOKAWA/2018年/913.6||R 25）です。大学生作家の颯太が、突然現れた10歳の女の子・りりなと共に過ごすことになることから物語は始まります。柗有花さんによる装画とピンク色のタイトルの文字の組み合わせが印象的で、温かさの中に不思議さも感じられます。標題紙にはさくらんぼ模様が描かれていて、かわいいアクセントになっています。



装画：柗有花
装丁：坂詰佳苗

今回ご紹介した坂詰佳苗さんの手がけられた装丁はどれも作品の空気が感じられ、装丁から心を動かされるものばかりでした。



ちょこちょこ日記 #38

「My Favorite Fuwa Mofu」

今回は「Fuwa Mofu」をテーマに本をご紹介します。

Fuwa Mofu にもいろいろありますが、わたしのお気に入りの Fuwa Mofu は、ひざかけです。小さすぎず大きすぎず、ほどよい大きさです。こげ茶色のひざかけのふちどりににはピンク色のステッチが入ってます。その色合いも好きで、10年くらい使っています。本を読んだり、テレビを見たりする時のわたしの冬の相棒です。この冬も、ひざかけと一緒にほっこりと過ごしたいと思います。

あなたのお気に入りの Fuwa Mofu は何ですか？

次号 No.99 は、2023年2月発行予定です。

こんな本読んでみて No.98

2022年12月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>